

## Appearance of an Error of the Pressure Measurement by Aneroid Barometer Loaded in Meteorological Sonde under a Sudden Change in Air Temperature

Naohiko Hirasawa\* and Nobuhiko Kizu\*\*

\* (Corresponding author) Information Science Center, National Institute of Polar Research, Kaga 1-9-10, Itabashi, Tokyo 173-8515, Japan.

\*\* Aerological Observatory, Japan Meteorological Agency.

(Received 27 July 1998 ; Accepted 9 November 1998)

### 第16回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

今回の研究会は IGBP/GAIM 小委員会の主催で、この3月に信州大学（松本）で開かれる第46回生態学会の自由式シンポジウムの1つとして、下記の内容で行われます。

#### シンポジウムのタイトル

新たなフロンティア—地球生態学の確立を目指して

開催日時：1999年3月29日（月）9～12時

会場はI会場【信州大学共通教育センター52番教室（共通教育センター第2講義棟1階）】

#### 企画の趣旨

人間活動による地球環境の変化が生態系へ大きな影響を及ぼすものと予想されている昨今、グローバルな視点から生態学を確立することが重要な研究課題であるとの考えから、関連する方々の講演をふまえて、今後の研究の方向性を論議する。

#### 講演者と演題

1. 地球環境科学関連学会協議会の概要について

講演者 木田秀次（京都大学・理学研究科）

2. 地球生態学を目指した新たな試み

講演者 1) 日浦 勉（北海道大学・苫小牧演習林）

林冠構造と機能量の直接測定とスケーリング

2) ○小泉 博（岐阜大学・流域環境研究センター）・小林和彦（農業環境技術研究所）

イネ FACE 実験の目指すもの

3) 新田慶治・○多胡靖宏（財団法人環境科学技術研究所）

閉鎖型生態系実験施設の技術とその応用

（コメンテーター）森川 靖（早稲田大学・人間科学部）

広瀬忠樹（東北大学・理学研究科）

3. 総合討論